

# 資料1

## 愛媛県循環器病対策推進計画（案）に寄せられた意見と県の考え方

愛媛県循環器病対策推進計画（案）について、令和3年12月24日（金曜日）から令和4年1月24日（月曜日）までの期間でパブリック・コメントを実施したところ、3人の方から9件の意見をいただきました。

案に対する意見と考え方は、次のとおりです。

なお、いただいた意見は、適宜集約・要約しております。

### 寄せられた意見と県の考え方

|   | 寄せられた意見の要旨   | 県の考え方  |
|---|--|--|
| 1 | 健康寿命の延伸、循環器病の減少には、タバコ対策（禁煙推進、受動喫煙の危害ゼロ）を重点目標の一つに捉えることがとても重要です。このタバコ対策の具体化のためには、まず、公共の場の禁煙の徹底が必要です。 | ご意見のとおり、喫煙は循環器病発症の危険因子となる生活習慣であり、改正健康増進法に基づき受動喫煙防止に関する啓発や必要な環境の整備等に努めています。また、本県の喫煙対策は「えひめ健康づくり21」及び「愛媛県がん対策推進計画」により推進していくこととしておりますので、引き続き同計画と連携を図りながら取組を進めてまいります。  |
| 2 | 喫煙者の禁煙を促す施策として、禁煙治療費の2/3助成制度を設けるのが良策と思います。   | なお、禁煙治療費の助成制度については、国や市町、県内の事業所等の動向などを踏まえ、今後、必要に応じて検討したいと考えています。  |
| 3 | コロナ禍を踏まえた循環器病対策として、三密が避けられないような公の場所での喫煙と受動喫煙は認められないことを基本として、喫煙可能店の禁煙化及び喫煙室の閉鎖が必須となるべきです。           |  |
| 4 | 病気になった人と同じ様に、介護している人のケア部門も強化してほしい。   | ご意見のとおり、介護をしておられるご家族の負担軽減等についても重要であることから、急性期から慢性期まで、どの時期においても患者及び家族が必要な支援を受けることができる体制の整備に努めてまいります。また、在宅の介護体制や家族の支援については、「第7次愛媛県地域保健医療計画（在宅医療）」及び「愛媛県高齢者保健福祉計画・介護保険事業支援計画」により推進していくこととしておりますので、引き続き同計画と連携を図りながら取組を進めてまいります。 |

|   |   |   |
|---|---|---|
| 5 | 働き盛りの人たちは、身体に障害が残りリハビリ等が必要な場合でも、ショックから積極的にリハビリを受けない人もいますので、その人の年齢を考慮してあげてほしい。                         | ご意見のとおり、対象者の年齢等、個別性に配慮したリハビリテーションを受けることができるよう、専門職の資質向上を図るとともに、多職種が連携して支援する体制の整備に努めてまいります。   |
| 6 | かかりつけ医を持つことで、家族の病歴等を参考に、同じ病気の要因になりそうなチェックをしてもらえるので徹底するとよい。  | ご意見のとおり、かかりつけ医は健康について何でも相談できる上、必要な時には専門医療機関等を紹介してくれる頼りになる存在であることから、かかりつけ医と情報の共有を図る等の取組を進めてまいります。  |
| 7 | 119番に電話をするまでの一番パニックになる初期の対応の周知にも力を入れた方がよい。  | ご意見のとおり、突然の症状出現時に速やかに急性期医療機関を受診することができるよう、循環器病の初期症状や初期対応について周知啓発を行うとともに、かかりつけ医や消防等の関係機関とも連携して取組を進めてまいります。   |
| 8 | 相談機関や職種がどんなふうに相談対応するのかなど、県民のみなさんに身近に感じられる内容になったらよい。お子さんや高齢者の方、働く現役世代など、循環器病に対する相談支援体制も同時に整えられたらいいと思う。 | ご意見のとおり、市町における身近な相談から医療機関等における専門的な相談まで、多機関の関係者が関わることから、相談に従事する専門職が連携して支援する仕組みづくりを推進してまいります。また、本計画については、概要版を作成し、ホームページへの掲載や関係団体等を通じて周知するなど、県民の皆様にも身近に感じていただけるよう広報活動も工夫してまいります。 |
| 9 | 循環器病に関わるさまざまな職種や職能団体にも意見や協力を求めているいただき、行政と医療に加えてその他の多職種・多機関で考えることができるといいと思う。                           | 本計画は、行政、関係機関や関係団体等が連携し、県民と協働して取り組むこととしておりますので、皆様のご協力のもと循環器病対策を推進してまいります。  |